

基本情報



【年 齢】
27歳
【出身地】
神奈川県 横浜市
【転出元】
神奈川県 横浜市
【前 職】
人材会社（法人営業）
【活動時期】
R2.6～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

隊員応募の前から、長期休みなどを利用して氷見に滞在する機会があり、自然や氷見を盛り上げようと活動されている方々と交流を深めながら、いつか氷見に移住し地域の力になりたいと考えていました。

その折、地域おこし協力隊として「教育魅力化コーディネーター」を募集していることを知り、自身が学んだ高校生向けのキャリア教育実践や地域の方と生徒をつなげるファシリテータースキルを活かして、「主体性を創る教育」のお手伝いができるのではと思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

高校での地域協働学習において、市内で活躍されている方と生徒をつなげることは出来ましたが、新型コロナウイルスの影響でフィールドワークによる実際の体験活動が制限されていたため、積極的に現地に飛び出す取り組みを強化したいと考えています。

また、退任後に向けてコミュニティスペースの機能を拡充し、「カフェ」「個別指導塾」「イベント」を柱に事業展開するとともに、高校生が地域を巻き込んだプロジェクトの実現を支援して、子ども達の氷見への愛着醸成につなげたい。

活動内容

●氷見高校における地域協働学習の推進

地域と高校が密接な関係を築き、「地域を5感で感じる」をテーマとした氷見高校1学年の授業「未来講座HIMI学」において、教員の業務負担が大きく、以前は地域課題を調べるだけの学習であったが、隊員が積極的に市内の地域や事業者、まちづくり協議会等との協力体制を構築することで学習の場を広げ、高校生が実際に地域で活躍する大人の話の聞いたり、フィールドワークをする中で、氷見市の課題を見つけ、解決に向けて探究を行う授業へと改革した。



●高校生のためのコミュニティ・スペース「ひみりべ。」の創設

学校の授業よりもフランクに高校生と地域・社会・世界のあらゆる人が繋がり、高校生の「やってみたい」ことが実践できる場が必要と考え、市内の社会人3名および富山大学の学生3名と一緒にコミュニティ・スペース「ひみりべ。」の創設に取り組み、駅と氷見高校の導線上の物件を所有者の行為により無料で賃貸し、DIYによるリノベーションを行っている。また、令和4年9月に隊員を代表とした一般社団法人D-liveを設立。マルシェや地域を考えるワークショップを開催している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) nobuaki.arai@city.himi.lg.jp
(電話番号) 0766-74-8013

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(氷見市地域おこし協力隊) <https://www.facebook.com/himiokoshi>

